

第26回（通算第144回）簿記能力検定試験問題解答用紙

上級 商業簿記

解 答

第1問
問 1

取引番号	A・Bの区分	勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
(1)	A・ <u>Ⓑ</u>	繰 延 割 賦 売 上 利 益	11,650,000	繰 延 割 賦 売 上 利 益 戻 入	11,650,000
	A・ <u>Ⓑ</u>	繰 延 割 賦 売 上 利 益 控 除	13,780,000	繰 延 割 賦 売 上 利 益	13,780,000
	A・B				
(2)	<u>Ⓐ</u> ・B	仕 入	600,000	荷 造 運 賃 入	600,000
	<u>Ⓐ</u> ・B	仕 入 値 引	200,000	仕 入	200,000
	A・ <u>Ⓑ</u>	仕 入	32,700,000	繰 越 商 品	32,700,000
	A・ <u>Ⓑ</u>	繰 越 商 品	30,400,000	仕 入	30,400,000
	A・ <u>Ⓑ</u>	見 本 品 費	104,000	繰 越 商 品	104,000
	A・ <u>Ⓑ</u>	商 品 評 価 損	990,000	繰 越 商 品	990,000
	A・B				
A・B					
(3)	<u>Ⓐ</u> ・B	新 株 予 約 権 付 社 債	10,000,000	新 株 予 約 権	15,000,000
	A・B	社 債 発 行 差 金	5,000,000		
	<u>Ⓐ</u> ・B	社 債 発 行 費	9,000,000	諸 手 数 料	9,000,000
	A・ <u>Ⓑ</u>	社 債 利 息	3,750,000	未 払 社 債 利 息	3,750,000
	A・ <u>Ⓑ</u>	社 債 発 行 費 償 却	3,000,000	社 債 発 行 費	3,000,000
	A・ <u>Ⓑ</u>	社 債 発 行 差 金 償 却	250,000	社 債 発 行 差 金	250,000
	A・B				
(4)	<u>Ⓐ</u> ・B	建 物 減 価 償 却 費	32,400,000	建 物 減 価 償 却 累 計 額	32,400,000
	A・ <u>Ⓑ</u>	建 物 減 価 償 却 費	3,600,000	建 物 減 価 償 却 累 計 額	3,600,000
	<u>Ⓐ</u> ・B	器 具 備 品	48,248,000	器 具 備 品 減 価 償 却 累 計 額	48,248,000
	A・ <u>Ⓑ</u>	器 具 備 品 減 価 償 却 費	11,748,000	器 具 備 品 減 価 償 却 累 計 額	11,748,000
	A・B				
(5)	<u>Ⓐ</u> ・B	借 地 権	38,250,000	建 設 仮 勘 定	38,250,000
A・B					
(6)	A・ <u>Ⓑ</u>	仮 受 消 費 税	41,450,000	仮 払 消 費 税	39,785,000
	A・ <u>Ⓑ</u>			未 払 消 費 税	1,665,000
	A・B				

()内の仕訳1つにつき3点

問 2

借 方		貸 方	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
現 金	38,250,000	土 地	10,710,000
		固 定 資 産 売 却 益	27,540,000

3点

第26回（通算第144回）簿記能力検定試験問題解答用紙

上級 商業簿記

解 答

第2問

貸 借 対 照 表

(単位：千円)

現 金 預 金	[2,268]	買 掛 金	[7,236]
売 掛 金	[9,180]	長 期 借 入 金	[1,296]
(商 品)	[5,616]	備 品 減 価 償 却 累 計 額	[450]
備 品	[1,250]	未 払 法 人 税 等	[2,052]
()	[]	本 店	[2,300]
		(当 期 純 利 益)	[4,980]
		()	[]
	[18,314]		[18,314]

損 益 計 算 書

(単位：千円)

期 首 商 品 棚 卸 高	[6,720]	売 上 高	[110,000]
当 期 商 品 仕 入 高	[82,390]	期 末 商 品 棚 卸 高	[5,616]
減 価 償 却 費	[225]	(為 替 差 益)	[353]
諸 経 費	[19,536]		
支 払 利 息	[66]		
法 人 税 等	[2,052]		
(当 期 純 利 益)	[4,980]		
()	[]		
	[115,969]		[115,969]

解答1つにつき各2点
 予想採点基準
 3点×20=60点
 2点×20=40点
 合計 100点

第26回（通算第144回）簿記能力検定試験問題解答用紙

上 級 会 計 学

解 答

第1問

番号	正誤欄	理 由
1	○	
2	○	
3	×	支払割引料は期間配分せずに、全額その期の費用とする。
4	×	賃貸借処理の場合資産計上されないため、貸借対照表の合計は異なる。
5	×	回収または支払が行われると見込まれる期の税率に基づいて計算する。
6	○	
7	×	自己株式処分差益は、その他資本剰余金の区分に表示する。
8	×	普通株式に係る当期純利益を普通株式の期中平均株式数で除して計算する。
9	×	親会社との取引による収益及び費用の換算差額については、為替差損益として計上する。
10	○	

各④

第2問

問1. 売買目的有価証券および一年内に満期の到来する社債その他の債券

④

問2. 記号（ア、イ、ウ、エ、オ）で答える

	1	2	3	4	5
商品	ウ	エ	ア	イ	オ

各②

問3. 収容される場所

論 拠
イ 未払費用は、一定の契約に従い、継続的に役務の提供を受ける場合、すでに提供された役務に対していまだその対価の支払が終わらないものをいうが、未払残業代は、継続的に役務の提供を受けるものではないため、未払金として計上する。

記号（ア、イ）で答える

③

問4.

A	B	C
土地再評価差額金	自 己 株 式	その他有価証券評価差額金

各③

問5.

ウ				
---	--	--	--	--

④

記号（ア、イ、ウ、エ、オ）で答える。

空欄はすべて埋まるとは限らない。

すなわち、正解の個数は、0から5個

までの間にある。

第26回（通算第144回）簿記能力検定試験問題解答用紙

上級 会 計 学

第3問

問1.

I	(営業活動) によるキャッシュ・フロー		
	(税引前当期純利益) ②	[	84]
	(減価償却費) ②	[	54]
	(貸倒引当金の増加額) ②	[	1]
	(固定資産売却損) ②	[	10]
	(売上債権の増加額) ②	[	-100]
	(棚卸資産の増加額) ②	[	-100]
	(仕入債務の増加額) ②	[	30]
	(前払費用の減少額) ②	[	2]
	(未払費用の増加額) ②	[	10]
	()	[	]
	()	[	]
	(営業活動) によるキャッシュ・フロー	[	-9]
II	(投資活動) によるキャッシュ・フロー		
	(有形固定資産の取得による収入) ②	[	-600]
	(有形固定資産の取得による支出) ②	[	640]
	()	[	]
	()	[	]
	(投資活動) によるキャッシュ・フロー	[	-40]
III	(財務活動) によるキャッシュ・フロー		
	(短期借入金の返済による支出) ②	[	-40]
	(配当金の支払額) ②	[	-20]
	()	[	]
	()	[	]
	(財務活動) によるキャッシュ・フロー	[	-60]
IV	(現金及び現金同等物の減少) 額	[	-29]
V	(現金及び現金同等物期首残高)	[	50]
VI	(現金及び現金同等物期末残高) ②	[	21]

[作成にあたっての注意]

() 内には言葉、[] 内には金額を書く。すべての() と[] が埋まるとは限らない。
もし、中間計を出す必要があるときは、金額の下に下線を引き、中間計であることを明示すること。
マイナスの金額には「－」を付けること。言葉が「減少額」のように、マイナスの場合でも、
金には「－」を付ける。

問2.

配当支払前フリー・キャッシュ・フロー	-9
--------------------	----

マイナスの場合、「－」を付ける。

②

予想採点基準

④・・・4点×12＝48点

③・・・3点×4＝12点

②・・・2点×20＝40点

合計100点

第26回（通算第144回）簿記能力検定試験問題解答用紙

上級 工 業 簿 記

問 1

当月加工分完成品換算量

A級製品 個

B級製品 個

問 2

A級製品当月直接材料費 円

B級製品当月加工費 円

問 3

A級製品完成品総合原価

直 接 材 料 費 円

加 工 費 円

B級製品完成品単位原価

円

問 4

級製品 完成品直接材料費 円

完成品加工費 円

問 1 ～ 問 4 まで解答1つにつき各 8 点

第26回（通算第144回）簿記能力検定試験問題解答用紙

上級 工 業 簿 記

問5

(単位：円)

	借 方		貸 方	
	借 方	金 額	貸 方	金 額
1	製 造 間 接 費	9,000	材 料	13,500
	材料棚卸減耗費	4,500		
2	仕 損 品	1,200	仕掛品－A級品	1,200

仕訳1組につき各5点

問6

類似点：1 同一工程において、同一原料から生産される。

2 原価を等価係数に基づき按分する。

各5点

予想採点基準
 8点×10＝80点
 5点×4＝20点
 合計100点

第26回（通算第144回）簿記能力検定試験問題解答用紙

上級 原 価 計 算

第1問

- 問1 (1) 第4期売上予測値 (180) 百万円 10点
計算過程： $(215+135+190) \div 3 = 180$
- (2) 第5期売上予測値 (181.67) 百万円 10点
計算過程： $(135+190+220) \div 3 = 181.67$

- 問2 移動平均をとる期間を長くした場合には、より過去の実績値の影響を受ける。 5点

- 問3 (1) 第2期売上予測値 (215) 百万円 10点
計算過程： $F_2 = 215 + 0.2(215 - 215) = 215$
- (2) 第4期売上予測値 (197.2) 百万円 10点
計算過程： $F_3 = 215 + 0.2(135 - 215) = 199$
 $F_4 = 199 + 0.2(190 - 199) = 197.2$

- 問4 α の値を大きくした場合には、より過去の実績値の影響が少なくなる。 5点

第2問

- 問1 損益分岐売上高 (122.5) 百万円 5点
安全率 (41.67) % 5点
- 問2 損益分岐売上高 (124.17) 百万円 5点
- 問3 予想税引き後当期純利益 (30.9) 百万円 5点
- 問4 予想FCFF (27.97) 百万円 5点
計算過程： $30.9 + 6.3 - 9.83 + (1.89 - 0.89) \times (1 - 0.4) = 27.97$

- 問5 用いるべき資本コスト (加重平均資本コスト) 5点
理由 企業全体の評価額を算定するため、加重平均資本コストを用いる。 5点

上級 原 価 計 算

第3問 株主資本コスト (14.2) % 5 点

計算過程: $\frac{24}{k-0.13} = 2,000$

$k = 0.142$

第4問 加重平均資本コスト (3.26) % 5 点

計算過程: $\frac{340}{3,215} \times 4\% \times (1-0.4) + \frac{2,050}{3,215} \times 2.5\% \times (1-0.4) + \frac{1.1 \times 750}{3,215} \times 8\% = 3.26$

第5問

投資を行うべき 投資を行うべきでない (どちらかを丸で囲む) 両方できて5点

判断理由 加重平均資本コストのほうが内部利益率より高く、投資のリターンを回収できないため、投資を行うべきではない。

予想採点基準
10点 × 4 = 40点
5点 × 12 = 60点
合計100点